

## 7-1 交通網の充実

### 基本方向(施策方針)

市民や地域にとって利便性の高い道路整備を推進するとともに、生活交通の確保・維持を図り、市民が利用しやすい公共交通体系づくりを進めるなど、交通網の充実に取り組みます。

#### これまでの主な取組・成果

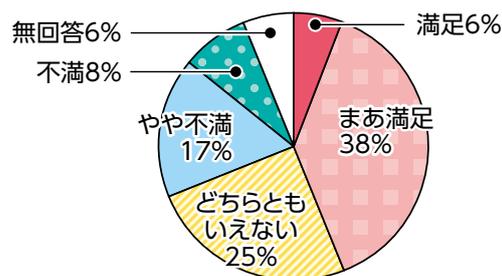
##### ◇実施した主要施策・事業等

- 市民が安心して安全に道路を利用するために、アセットマネジメントにより、市道の維持管理事業を計画的に推進しました。
- 渋滞緩和や物流の活性化等を図るため、計画的な道路整備に取り組みました。
- 定期的な橋梁点検を行い、橋梁の長寿命化に取り組みました。特に、喫緊に架け替えが必要な古川跨線橋については、国や鉄道事業者などの関係機関との調整を図りながら、事業を推進しました。
- 都市計画決定後30年以上未着手の都市計画道路について、現状や将来交通量等の調査を行い、各路線の必要性や見直しの方向性を検証し、「周南市都市計画道路見直し方針」を公表しました。
- 商業、医療、金融などの生活サービスが集積している地域拠点への移動手段を確保するため、大道理地区をはじめ3地区に新たなコミュニティ交通を導入しました。
- バスの乗り方教室の実施、バスロケーションサービスの導入支援など、公共交通機関の利用促進を図りました。
- 歩行者等の安全性、駅利用者等の利便性の向上のため、徳山駅東側駐輪場、徳山駅西

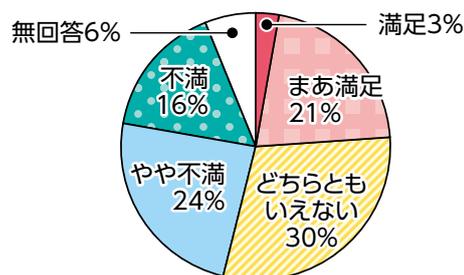
側駐輪場、徳山駅南側駐輪場を新設し、櫛ヶ浜駅東駐輪場を増設しました。

##### ◇市民の意識

###### ■生活道路や幹線道路の整備



###### ■バスや鉄道など公共交通の利便性



## 現状と課題

- 道路は老朽化が進んでおり、維持管理経費が増加傾向にあるため、アセットマネジメントを着実に実施する必要があります。
- 橋梁では、市道に架かる橋(805橋)の約半数が50年以上経過しており、長寿命化に向けた補修などを計画的に行う必要があります。特に、老朽化が進む古川跨線橋は早期の架け替えが求められています。
- 中開作線や野村一丁目7号線、中溝線等の道路整備事業では、道路用地の取得を進めながら早期の完成を目指す必要があります。
- 人口減少、少子高齢化、マイカーの普及拡大、運転士不足などにより、路線バスをはじめとした公共交通網の維持が困難となることが予測され、持続可能な交通ネットワークを構築する必要があります。
- 公共交通機関の乗継環境は、各交通機関との乗継時の待ち時間や待合環境など利用者負担があり環境改善を図る必要があります。
- 徳山駅前駐車場などの市営駐車場は、施設老朽化の対応など、今後の利用実態を見据えた維持・改修を検討していく必要があります。

- 歩道等に放置自転車等が発生しているため、歩行者の安全確保と景観維持のため、駐輪場への駐輪を促し、歩道等の放置自転車等の追放に取り組む必要があります。

## 推進施策の展開

## ◇幹線道路網の整備

- 円滑な移動の確保や地域間交流の促進を図るため、国や県等との連携を図り、国道2号や県道下松新南陽線など、市内の各拠点地区を結ぶ幹線道路の整備に取り組みます。
- 都市の将来像や地域のまちづくりを踏まえ、長期末着手の都市計画道路の見直しや道路網の再構築を進めます。

## ◇道路・橋梁の整備

- 市内全域の市民生活に密着した生活道路の安心・安全・快適な道路環境整備を実施します。

## ◇道路・橋梁の適正な維持管理

- 安心・安全な道路環境を維持するため、アセットマネジメントを着実に実施し、計画的かつ効



須金・須々万間を運行するコミュニティバス

率的な道路・橋梁の維持管理を行います。

#### ◇公共交通の確保・充実

- 将来にわたり持続可能で利便性の高い公共交通の実現を目指して、コンパクトなまちづくりと連携した公共交通網の形成を図るとともに、地域拠点と周辺を結ぶ生活交通等、地域公共交通ネットワークの構築に取り組みます。

#### ◇交通結節点の環境整備

- 公共交通利用者の利便性、快適性の向上を図るため、交通系ICカードの導入を推進するほか、鉄道駅等の主要な交通結節点の一体的な環境整備に取り組みます。

#### ◇駐車場・駐輪場の管理

- 市営駐車場の適正な維持管理と予防保全等により各施設の長寿命化を図ります。
- 駐輪場の利用状況等を把握し快適な駐輪環境

を提供するとともに、歩行者の安全確保と景観維持のため、歩道等の放置自転車等の追放に取り組みます。

#### 主な指標

主な指標	現状値 (2018年度)	目標値 (2024年度)
市道の改良率 ※改良済区間÷市道延長× 100(2018年度の改良 率:781km÷1195km× 100=65.4%)	65.4%	66.0%

#### 関連する主な個別計画

- 周南市地域公共交通網形成計画  
【計画期間：平成28～令和7年度】



JR新南陽駅



JR櫛ヶ浜駅

## 7-2 暮らしやすい都市環境の整備

## 基本方向(施策方針)

計画的な都市機能の整備や適正な土地利用の規制・誘導等による高次な都市機能の集約を図り、健全な市街地の形成とともに、緑と調和した良好な都市環境や安心安全な住生活を確保した、持続可能なまちづくりを進めます。

## これまでの主な取組・成果

## ◇実施した主要施策・事業等

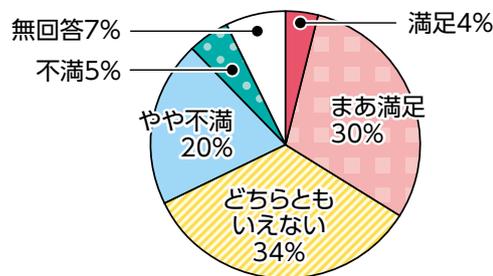
- 持続可能な都市構造への転換を図るために、居住機能や都市機能の立地、公共交通の充実に関する包括的なマスタープランである「周南市立地適正化計画」を策定しました。
- 周南緑地はメインエントランス及び駐車場の整備、永源山公園はプール広場のリニューアル、徳山公園は動物園北園及び南園の整備を行ったほか、公園施設の長寿命化対策を実施しました。
- 区画整理事業(平成30(2018)年度末進捗率:久米中央地区97.7%・富田西部第一地区97.3%)を推進しました。
- 既存の住宅や建築物の耐震化をより一層促進するため、平成31(2019)年3月に「周南市耐震改修促進計画」を改定しました。
- 公営住宅の長寿命化によるライフサイクルコストの削減のため、平成28(2016)年3月に「周南市公営住宅等長寿命化計画」を改定しました。
- 住宅施策を計画的かつ総合的に推進するための基本方針として、平成29(2017)年3月に「周南市住生活基本計画」を策定しました。
- 民間建築物に対して、土砂災害特別警戒区域内の改修費用や、アスベスト対策に係る補助

制度を創設し、安全性の確保を推進しました。

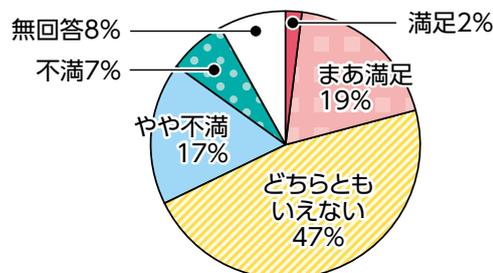
- 空き家等の適切な管理を促進し、地域の安心・安全な生活環境を守るため、平成28(2016)年10月に「周南市空き家等の適切な管理に関する条例」を施行しました。

## ◇市民の意識

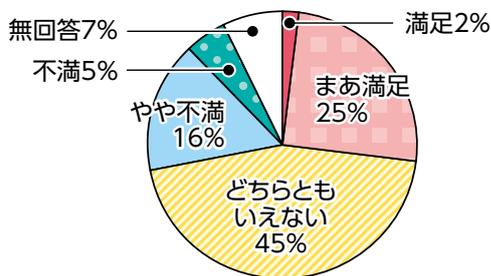
## ■公園や緑地の整備



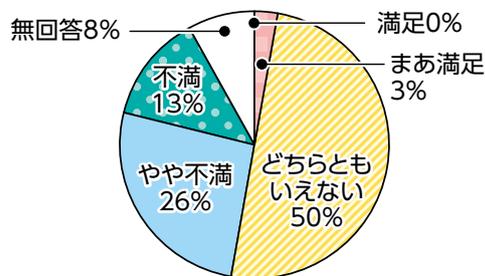
## ■住環境の整備等の推進



## 街並みや景観の形成



## 空き家や空き地の利活用



## 現状と課題

- 人口減少や少子高齢化の進展に対応した、都市機能を集約したまとまりのある都市づくりが求められているほか、近年多発する集中豪雨や大地震等に備えた、災害に強い都市構造の構築を図る必要があります。
- 地域資源の活用や良好な景観形成等により、魅力ある住環境の向上を図り、定住人口の維持や居住誘導につながる持続可能なまちづくりが求められています。
- 市街地において低未利用地や空き家が増加するなど都市のスポンジ化が進んでおり、適正な土地利用を推進する必要があります。
- 公園施設の老朽化に対応した長寿命化対策や安全指針に基づく対策のほか、地域ニーズの変化や都市機能の集約化など社会情勢の変

化に対応した公園の再編が求められています。

- 樹木の太木化などによる維持管理の負担が増加しており、公園や街路樹の適切な維持管理を進めるため、市民の緑化や美化に対する意識向上や、地域住民・事業者・行政の協働した取組が必要となっています。
- 小規模で連続した宅地造成等においては、排水施設や公園等の公共施設が未整備となることから、適切な規模の開発許可制度に誘導する必要があります。
- 近年の大規模地震発生など、自然災害から生命や財産を守るために、既存住宅の耐震化や危険のあるブロック塀等の撤去を一層促進する必要があります。
- 多様化する住宅困窮者に対する公平かつ確かな住宅セーフティネットの確保が求められています。
- 増加する空き家の適切な管理と利活用の推進を図り、空き家の増加を抑制する必要があります。



永源山公園ゆめ風車

## 推進施策の展開

### ◇計画的な土地利用の推進

- 街なか居住や適正な土地利用の推進、災害リスクの軽減に向けた取組等により、無秩序な市街地の拡大を防止し、良好な住環境や防災・減災に配慮したまちづくりを進めます。
- 土地の開発・保全や利用の高度化に資するため、計画的に地籍調査を進めます。

### ◇公園・緑地等の整備

- 公園・緑地のもつ多面的役割を持続させるため、公園・緑地の適正な配置と計画的な整備・改修を図ります。
- ユニバーサルデザインに基づき、多様化するニーズや多発する自然災害への防災機能を考慮した公園施設の整備・改修を進めます。
- 周南緑地は、スポーツ・レクリエーション及び広域防災拠点としての強化を図るため、計画的に事業を推進します。
- 公園施設の老朽化に対応するため、公園の地域特性と利用者の安全性の確保を考慮し、計画的な長寿命化対策を推進します。

### ◇公園・緑地等の適正な維持管理

- 専門技術者による遊具の動作確認、安全指針に基づく点検など、利用者の安心安全を確保するため、公園の適切な維持管理を進めます。
- 良好な景観や環境を保全するとともに、安全で円滑な道路交通を確保するため、街路樹の適切な維持管理を進めます。



市道徳山港線の街路樹

- 地域の誰もが気軽に利用できるレクリエーションやコミュニティの場を確保するため、公園愛護会などとの連携を図り、快適な公園環境の維持管理を進めます。

### ◇魅力ある景観の形成

- 景観まちづくりへの意識醸成を図り、地域主体の景観まちづくり活動の支援と併せて、周南市景観整備機構等と連携し、各地域における特色のある景観の保全と創出を公民連携で進めます。

### ◇快適な住環境の整備

- 居住促進区域内外の各地域特性に応じて、医療、福祉、子育て支援、商業等の生活サービス機能の充実や、適切な開発許可制度の運用による開発行為の許可など、快適な住環境の形成を進めます。
- 久米中央地区や富田西部第一地区の土地区画整理事業は、計画的に推進し早期完了を目指します。
- ライフサイクルコスト縮減の観点から、公営住宅ストックの長寿命化改修を計画的に実施し、社会情勢の変化により変動する公営住宅の必要戸数を確保します。

- 省エネルギー対策による快適で質の高い住宅ストックへの更新を促すため、長期優良住宅建築等計画の認定制度の拡充を図ります。

#### ◇安心安全な住まいづくり

- 既存の住宅や建築物の耐震化を促進するとともに、避難路沿道等に存する地震時に危険のあるブロック塀等の撤去を支援することにより安全確保を推進します。
- 土砂災害特別警戒区域内の民間建築物の土砂対策工事を促し、災害時の人的被害の発生を防ぎます。
- 民間建築物に使用されているアスベストへの対策を促し、アスベスト飛散による健康被害の発生を防ぎます。

#### ◇空き家・空き地対策の推進

- 安全で快適に暮らすための住まいを確保するとともに、空き家の増加を抑えるため、空き家の適正な管理及び利活用の推進を図ります。
- 快適な都市環境を形成するため、空き地などの低未利用地の利活用を推進します。



久米中央土地区画整理事業

#### 主な指標

主な指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2024年度)
<b>居住促進区域内人口密度</b> <small>※国勢調査、住民基本台帳及び居住促進区域面積を基に算出</small>	48.0人/ha	47.3人/ha
<b>公園遊具の改築・更新公園数</b> <small>※緑化重点地区内で遊具の改築・更新を行った公園(永源山公園周辺地区・中心市街地周辺地区・周南緑地周辺地区)対象…37公園</small>	8公園	17公園
<b>市営住宅等管理戸数</b> <small>※将来人口推計結果等を基に将来需要を推計</small>	3,723戸	3,030戸

#### 関連する主な個別計画

- 周南市都市計画マスタープラン  
【計画期間：平成20～令和10年度】
- 周南市緑の基本計画  
【計画期間：平成20～令和10年度】
- 周南市景観計画  
【計画期間：平成23年度～】
- 周南市立地適正化計画  
【計画期間：平成29～令和17年度】
- 周南市住生活基本計画  
【計画期間：平成29～令和8年度】
- 周南市空家等対策計画  
【計画期間：平成29～令和8年度】

## 7-3 都市拠点等の形成

### 基本方向(施策方針)

生活サービスや都市の魅力を高める施設の充実、快適な居住環境の整備、地域社会の維持等により、利便性や活力のある都市拠点等の形成を図ります。

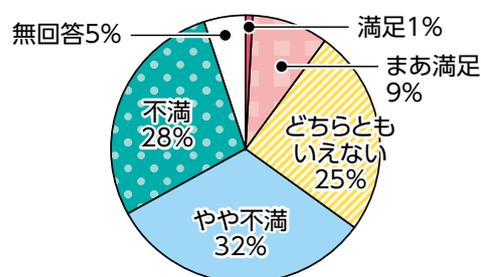
#### これまでの主な取組・成果

##### ◇実施した主要施策・事業等

- 行政や医療・福祉、商業等の質の高い生活サービス機能をJR徳山駅周辺の広域都市拠点やJR新南陽駅周辺等の地域都市拠点に集約するとともに、その周辺に居住を誘導し、拠点間を公共交通等でつなぐコンパクト・プラス・ネットワークの取組を推進するため、「周南市立地適正化計画」を策定しました。
- 徳山駅南北自由通路、橋上駅舎、徳山駅前賑わい交流施設、徳山駅北口駅前広場等を整備し、広域都市拠点としての機能強化を図り、徳山駅前賑わい交流施設は年間来館者数200万人を超えるなど、賑わいを創出しました。
- 第1期中心市街地活性化基本計画(平成25(2013)年4月～平成30(2018)年3月)に基づき、中心市街地活性化協議会等、民間と連携して事業を進め、活性化の目標値(中心商店街等の新規出店数累計149店舗、街なかの歩行者等通行量14か所28,000人/日)を達成しました。

##### ◇市民の意識

##### ■中心市街地の活性化



#### 現状と課題

- 進学や就職、結婚、退職等の生活スタイルの変化、様々な居住ニーズ等に応じて、市街地や中山間地域への特に若者の定住、移住の促進に向けて、利便性が高く良好な生活環境等の整備が求められています。
- 市街地において、低未利用地や空き家が増加するなど都市のスポンジ化が進んでいるほか、市街地周辺部や中山間地域の生活拠点等においても、生活サービス施設の減少や公共交通サービスの低下といった課題が表面化しています。
- 徳山駅周辺整備事業等、第1期中心市街地活性化基本計画期間中に実施した事業により、徳山駅周辺に賑わいが創出されました。この賑わいを中心市街地全域、さらには市内全域に波及させることが求められています。

- 徳山駅前地区第一種市街地再開発事業やイベント等、集客力や回遊性を高める民間の取組が進んでいます。これらを支援するため、第2期中心市街地活性化基本計画に基づき、継続的かつ系統的に活性化を推進する必要があります。

## 推進施策の展開

### ◇中心市街地の拠点性の向上

- 広域都市拠点として位置付けるJR徳山駅周辺では、質の高い生活サービス等を提供しながら、賑わいと活力を創出します。
- 徳山駅周辺整備事業を早期に完了させ、徳山駅を中心とした拠点性の向上を図ります。
- 徳山駅前賑わい交流施設を核として、徳山駅北口駅前広場、徳山駅南口駅前広場、徳山駅南北自由通路、周辺の市道等、公共空間及び公共施設の利活用を推進します。
- 第2期中心市街地活性化基本計画に基づき、

引き続き公民が連携して事業に取り組むとともに、徳山駅周辺に加え、シビック交流センター、徳山動物園・文化会館・美術博物館との回遊性を促進することにより、魅力ある中心市街地の再生・充実を図ります。

- 商業・サービス機能の充実、街なか居住の推進、新たな雇用の創出等に寄与する徳山駅前地区第一種市街地再開発事業や、各種イベントなど、民間による中心市街地の賑わい創出に寄与する取組を支援し、来街者の増加を図ります。
- 中心市街地が誰にとっても居心地の良い、“みんなの公共空間”＝公園都市(パークタウン)となるよう、マナーの向上や快適な空間づくりに資する民間の取組を支援します。

### ◇地域都市拠点や生活拠点の維持

- 広域都市拠点を補完し、主要交通結節点であり、また、市の副都心としているJR新南陽駅周辺や地域の中心的な役割を担う都市的機能が集積する拠点と位置付ける熊毛総合支所周



徳山駅北口駅前広場

辺、鹿野総合支所周辺、須々万支所周辺の地域都市拠点について、医療、商業等の身近な生活サービス施設や交通結節機能の維持・更新・集約に取り組みます。

- 一定の生活サービス機能を有する市街地周辺部や中山間地域の各支所周辺等の生活拠点については、公民が連携して、その機能を維持するとともに、生活サービス機能が集積する地域都市拠点等への住民の移動手段の確保を図ります。

### 主な指標

主な指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2024年度)
歩行者等通行量(徳山) ※JR徳山駅周辺の5か所の1日 当たりの歩行者・自転車数	12,176人	13,000人
歩行者等通行量(新南陽) ※JR新南陽駅前の1か所1日 当たりの歩行者・自転車数	623人	710人

### 関連する主な個別計画

- 周南市立地適正化計画  
【計画期間：平成29～令和17年度】
- 周南市地域公共交通網形成計画  
【計画期間：平成28～令和7年度】
- 徳山駅周辺整備構想  
【計画期間：平成16年度～】
- 徳山駅北口駅前広場、南口駅前広場及び南北自由通路基本計画  
【計画期間：平成21年度～】
- 中心市街地駐輪場整備計画  
【計画期間：平成25年度～】
- 第2期周南市中心市街地活性化基本計画  
【計画期間：令和2～6年度】



徳山駅前賑わい交流施設

## 7-4 水道の安定供給と下水道の充実

### 基本方向(施策方針)

安全で安定した水道水の供給と下水道の整備・充実の推進を図り、快適な生活環境で暮らせるまちづくりを進めます。

#### これまでの主な取組・成果

##### ◇実施した主要施策・事業等

###### 水道事業

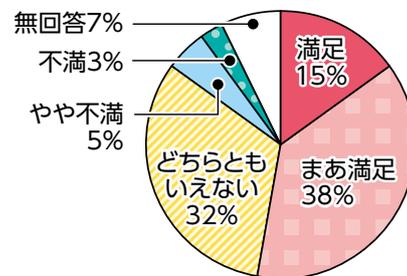
- 大迫田浄水場の耐震化・長寿命化対策に着手するとともに災害時に重要となる配水管を計画的に更新することで、管路の耐震化を進めました。
- 一の井手浄水場の浄水処理を中止し、施設最大稼働率の向上を図りました。
- 簡易水道事業等の経営基盤の安定化及び効率化を図るため、周南市水道事業に統合し、一元化しました。

###### 下水道事業

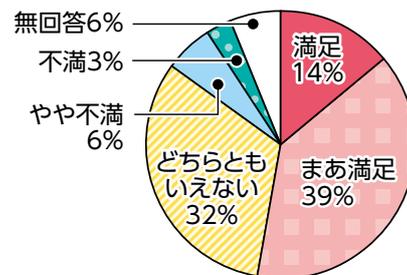
- 管渠や浄化センター・ポンプ場など施設毎に長寿命化計画を策定し、施設の長寿命化や耐震化に取り組みました。また、下水道施設全体を一体的に捉えた下水道ストックマネジメント計画を策定しました。
- 市街化区域や用途地域内を優先して公共下水道の整備を行うとともに、それ以外の地区では地元の意向を把握し整備手法の見直しを行うなど、汚水処理施設整備人口の普及を図りました。
- 土地区画整理事業や県道拡幅工事の進捗に併せ、雨水管渠等の整備を行うなど浸水対策事業を推進しました。

##### ◇市民の意識

###### ■上水道の整備



###### ■下水道・排水施設の整備



#### 現状と課題

##### 水道事業

- 水道水の安全性を確保するため、浄水施設への不法侵入者対策、テロ対策等の強化が必要です。また、水源から蛇口に至るまでの一貫した水質管理が必要です。
- 大規模地震や集中豪雨などの災害時において

も安定した給水を確保するため、主要な浄水施設・管路の耐震化を図り、機能強化を高める必要があります。

#### 下水道事業

- 人口減少などの近年の社会情勢を踏まえ、今後は地域の実情に応じた汚水処理施設を選択し、未普及地区の水洗化を一層推進していく必要があります。
- 近年の都市化の進展や頻発する豪雨に伴う浸水被害を解消・軽減するため、市街地の低地での浸水対策を進める必要があります。
- 下水道施設の老朽化が進む中、地震などの災害時においても機能を確保するため、立地適正化計画との整合を図りながら、適正な維持管理と施設の計画的な改築更新を推進していく必要があります。

### 推進施策の展開

#### ◇安全な給水の確保

##### 水道事業

- 水源から給水栓に至るまでの全ての段階における水質被害のリスクに対し、水道水の供給に影響を及ぼさないよう迅速かつ適正に対応できる監視体制を構築することで、水道の安全性を高めます。

#### ◇下水道施設の整備

##### 下水道事業

- 人口減少や少子高齢化社会を踏まえ、下水道や浄化槽など地域の特性に応じた効率的な汚水処理施設の整備を行い、汚水処理人口普及率の向上を図ります。
- 雨水管渠等の整備を進めるとともに、土地区

画整理事業や道路事業などと整合を図りながら、浸水対策を推進します。

#### ◇上下水道施設の長寿命化・耐震化

##### 水道事業

- 水道施設更新計画・耐震化計画に基づき、主要な浄水施設の耐震化・長寿命化を図るとともに災害時に重要な拠点となる病院や指定避難場所へ給水する配水管を計画的に更新します。

##### 下水道事業

- 管渠や浄化センター・ポンプ場など下水道施設全体の中長期的な施設の状態を予測しながら維持管理、改築を一体的に捉えた下水道ストックマネジメント計画に基づき、徳山中央浄化センターの再構築事業など、施設の長寿命化や耐震化を推進します。



大迫田浄水場



徳山中央浄化センター

## ◇上下水道事業の経営の安定化

### 水道事業 下水道事業

- 経常費用を経常収益で賄っていますが、水需要の確保や支出の抑制対策について検討しながら、今後も持続可能な経営を進めます。
- 企業債残高の減少により、経営の安定化を図ります。

### 主な指標

#### 水道事業

主な指標	現状値 (2018年度)	目標値 (2024年度)
<b>管路の耐震化率</b> ※全管路のうち耐震管延長÷全管路延長×100	29.60%	34.68%
<b>管路の耐震適合率</b> ※全管路のうち耐震適合管延長÷全管路延長×100	38.71%	43.83%
<b>企業債残高</b> ※企業債残高の推移	14,446,498千円	10,957,141千円

#### 下水道事業

主な指標	現状値 (2018年度)	目標値 (2024年度)
<b>管渠の布設替え・更生延長</b> ※ストックマネジメント計画等に基づいた施工済み延長	2,460m	4,160m
<b>企業債残高</b> ※企業債残高の推移	21,052,789千円	17,619,593千円

### 関連する個別計画

#### 水道事業

- 周南市水道事業ビジョン(経営戦略を含む)  
【計画期間：令和元～10年度】
- 周南市水道事業計画  
【計画期間：平成29～令和8年度】
- 周南市水道事業施設更新計画・耐震化計画  
【計画期間：令和元～10年度】

#### 下水道事業

- 周南市公共下水道事業計画  
【計画期間：平成30～令和11年度】
- 周南市流域関連公共下水道事業計画  
【計画期間：平成29～令和10年度】
- 周南市下水道事業経営戦略  
【計画期間：平成29～令和8年度】

